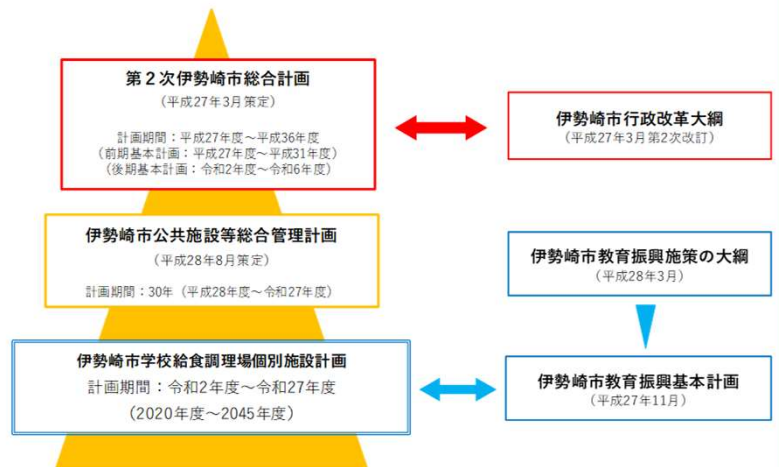


伊勢崎市学校給食調理場個別施設計画（案） 概要版

◇伊勢崎市学校給食調理場個別施設計画の背景と目的

伊勢崎市学校給食調理場個別施設計画は、公共施設等総合管理計画にもとづき、学校給食調理場の維持・管理を第一に、中長期的な維持管理や改修等に係る更新コストの縮減と平準化、環境の質的改善も考慮し適切に改修等を実施することで、学校給食施設の維持管理・更新にかかるトータルコストの縮減を目指す。

伊勢崎市学校給食調理場個別施設計画の位置づけ



◇計画期間

計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和27年度（2045年度）までの26年間とします。

計画期間	年度 和暦（西暦）	年度																									
		平成28年 (2016)	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)																			
総合計画 計画期間：10年		前期					後期																				
公共施設等総合管理計画 計画期間：30年		短期			中期			中長期						長期													
個別施設計画 計画期間：26年			短期		中期		長期																				

◇計画対象施設

伊勢崎市学校給食センター条例により設置が定められている学校給食調理場4棟1施設を計画の対象とします。各施設の劣化状況は以下のとおりです。

建物基本情報									構造躯体の健全性			劣化状況評価					
施設名	建物名	建物用途	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
						西暦	和暦		基準	診断	補強						
第二学校給食調理場	管理調理棟	給食センター	S	2	1,949	1993	H5	26	新			B	B	B	B	B	75
第二学校給食調理場	排水処理棟	給食センター	RC	1	186	1993	H5	26	新			B	B	B	B	B	75
境第一学校給食調理場	管理調理棟	給食センター	S	2	675	1997	H9	22	新			B	B	B	B	B	75
境第二学校給食調理場	管理調理棟	給食センター	S	2	874	1998	H10	21	新			A	B	A	B	B	87

平成31年3月に建設工事が完了した第一学校給食調理場は、完了して間もないため調査対象外としました。

◇施設整備の基本的な方針

平成28年8月に策定した「伊勢崎市公共施設等総合管理計画」において示された、「総量の適正化」、「長寿命化の推進」、「効率的な管理・有効活用」を設定した上で、個別具体的な取り組みを進めるとの方針に基づき、学校給食施設については「計画的な修繕、改修による長寿命化」「将来的な児童数、生徒数の動向を考慮した統廃合や複合化、更新の検討」に取り組むという基本方針に基づき、計画的な老朽化対策に取り組めます。年間およそ200日の給食調理を続けながら長寿命化改修工事をするには、夏休み期間を除いては、十分な期間を確保することができないため、衛生上も不可能であることから、学校給食施設の整備については改築が前提となります。改築時期の児童生徒数の動向により、可能な限りコスト削減に努め、統廃合を含めた改築を基本的な方針とします。

改築を計画する際には、調理場の調理能力を最大限生かした配送区域の見直しを行い、必要最小限の建物とします。改築の周期は、一般的な調理機器類の耐用年数等を考慮し、調理機器類の更新を実施した建物は築40年、調理機器類の更新を実施しない建物は築30年で改築することとします。また、更新コスト削減を実現する手法の一つとしてのPFI手法と管理コスト削減を実現する手法の一つとしてのPPP手法の導入についても検討いたします。

◇実施スケジュールと概算事業費

第二学校給食調理場

- 実施予定時期 令和12年度～令和16年度
- 概算事業費 1,137,800,000円

境第一学校給食調理場

- 実施予定時期 令和17年度～令和21年度
- 概算事業費 394,200,000円

境第二学校給食調理場

- 実施予定時期 令和17年度～令和21年度
- 概算事業費 510,200,000円